



ことしもやります 第2回笑呼キャンペーン

～地球にも家計にもやさしい節電を～

わが家の節電チェック表

家族で取り組んでいる内容についてチェック欄に○を付けて、節電に努めましょう。

チェック	節電の内容	機器1台の年間節約金額(円/年)
1	冷房の温度設定は28度を目安に(27度 → 28度の場合)	670円
2	エアコンの使用時間を1日1時間減らす	410円
3	冷蔵庫には物を詰め込み過ぎないようにする	960円
4	冷蔵庫の無駄な開閉をやめる(1日50回 → 1日25回の場合)	230円
5	冷蔵庫の温度設定を「強」→「中」に	1,360円
6	こまめに消灯(54ワットの白熱球1灯当たり1日1時間短縮の場合)	430円
7	省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯の使用を心掛ける(54ワットの白熱球 → 省エネ型の12ワットの電球型蛍光灯の場合)	1,850円
8	テレビを見る時間を1日1時間減らす(20型液晶の場合)	330円
9	電化製品の主電源を切る(プラグをコンセントから抜く)	2,490円
10	洗濯物はまとめて洗う(規格容量の4割 → 8割の場合)	3,950円

出典：財団法人 省エネルギーセンター

第2回笑呼キャンペーン

実施主体
牧之原市笑呼キャンペーン実行委員会、牧之原市

対象

市内在住の全市民
チャレンジ参加世帯の目標は1500世帯(市内全世帯の10%)です。

実施期間

平成23年8月～平成23年9月
(実施期間は2カ月間。検針日が異なるため地域により前後します)

事業内容

- ① キャンペーン開始に向けて、家庭での省エネ方法をまとめた小冊子を全戸に配布。併せて市内スーパーマーケットで街頭キャンペーンを行う。
*小冊子にはキャンペーンの概要を掲載。参加登録用はがき、チャレンジ用紙も添付しています。
- ② チャレンジ参加を希望する世帯は、登録はがきに必要事項を記入して送付してください。
- ③ 2カ月間の電気使用量を前年よりも15%削減することを目標に、各世帯で省エネに取り組む。
実施後、チャレンジ用紙と検針票を提出してください。
- ④ 結果発表。電気使用量の削減率が大きい参加者に賞品などを授与します。



まずはプラグを抜くことから

できることから始めよう

節電のススメ

中部電力浜岡原子力発電所の停止に伴い、ことしの夏は電力の供給不足が心配されています。私たちが今まで以上に節電に心掛ける必要があります。家庭の電気の約7割はエアコンや冷蔵庫、照明器具、テレビの4つに使われています。それぞれの機器の使い方を少し見直し、工夫することで効果的な節電をお願いします。

エアコンの節電

- ▼夏の冷房時の室温は28度を目安に、設定温度をこまめに調節。
- ▼つける時間は短めに。必要に応じてつけ替える。
- ▼フィルターの掃除は2週間に1回程度行う。

「こんな工夫を」
・ドア、窓の開閉は少なく、すだれやレースのカーテンで日差しをカット。
・外出時は昼間でもカーテンを閉めましょう。
・扇風機を併用。風が体に当たると涼しく感じます。
熱中症にならないように適度にエアコンを使う。

いくら節電のためとはいえ、あまり無理をして体調を崩しては意味がありません。特にお年寄りや小さな子どもには十分注意が必要です。
互いに助け合い、無理をし過ぎないことが大切です。それぞれの立場で、できる範囲で、できるときに節電を心掛けましょう。

冷蔵庫の節電

- ▼物を詰め込み過ぎない。
- ▼無駄な開閉はやめる。
- ▼冷蔵庫内の設定温度を適切に。「強」から「中」へ。
- ▼開けている時間を短く。

「こんな工夫を」
・熱いものは冷ましてから保存しましょう。庫内の温度が上がると、冷やすのに余分なエネルギーが消費されます。
・常温で保存できるものは、冷蔵庫に入れないように。

照明器具の節電

- ▼部屋を離れるときは、必ず消灯。必要のない明かりはこまめに消す。
- ▼交換時は、省エネルギー型の蛍光灯や電球型蛍光灯、LED電球の購入を検討。54ワットの白熱電球と同じ明るさの12ワットの電球型蛍光灯の寿命は白熱電球の約6倍で、電気代は4分の1以下。

「こんな工夫を」
・照明のかさやカバーが汚れると明るさが低下するので、こまめに掃除を。

テレビの節電

- ▼つけっぱなしにせず、見ないときには消す。
- ▼平日午後1時から午後4時までの電力需要ピーク時には「ながら見」は避ける。
- ▼消すときは主電源を切る。

節電の大敵を退治
家庭の消費電力の6パーセントを占めるのが待機時消費電力です。
テレビだけでなく他の機器も、消すときはコンセントからプラグを抜くことを心掛けましょう。



問い合わせ 環境課
☎(53) 2609